

目標達成計画

作成日: 平成 27 年 8 月 6 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	2003年4月、開設当初からの利用者等重度化が目立ってきている。また、2階に居室がある方等の対応など、ハード面の限界も含め、早い段階から本人・ご家族等と話し合い方向性を共有していくことが課題。	利用者の重度化や2階の生活に支障が出てからではなく、今年度中に全利用者とそのご家族等と個別に担当者会議等を開催し方針を定め、支援の方向性を共有していく。	①ご家族が遠方の方が多いため、受診日の前後等日程の調整を図り、必要に応じて医療機関をはじめ、関係機関も出席していただき担当者会議を開催していく。③GHの限界も伝えながら、重度化・看取りに対する本人・ご家族の意向に沿った方針をチームで支援できるよう取組む	12ヶ月
2	34	火災等の避難経路の見直しや防災グッズの中身(利用者台帳、災害用グッズや食糧の賞味期限、利用者名簿等、適切に管理することが課題	避難階段等を設置しているが、重度化してきている今日、避難経路等の見直し、消防署などの指導・助言を受けて確認する。防災グッズの中身に関しても適切に管理していく。	①台所が火のもとであった場合の避難経路の見直し(1階2部屋重度の入居者)など、消防署の指導・助言をいただきながら、2方向対応を考える。②災害時に持ち出す必要書類・賞味期限の管理を適切に行っていく。③そのための防災管理担当者を新たに1人配置していく。	6ヶ月
3	35	感染や緊急時の対応に関する研修会の開催や基礎的な医学知識・情報に関する学びを深めることが課題。	ノロウイルスやC型肝炎等感染に関する基本的な医学知識や適切な応急手当・初期対応の訓練等のに関する研修会を行い、全職員が実践力を身に着けることができる。	再度ノロウイルスやC型肝炎等感染に関する基本的な医学知識や適切な応急処置・初期対応の訓練等全職員が参加・訓練の機会を(8月実施)設ける。全職員が基礎知識と実践力を身に着ける。	6ヶ月
4	26	ご利用者の入居後の追加情報や状況の変化等、現状に即した介護計画の立案と実践をしていくことが課題。	2015年度において、利用台帳を新たに整備する。その後定期的に入居者それぞれの担当職員がアセスメントとモニタリングを行い、ご本人の現状や意見が反映される介護サービス計画の作成にあたる。	①2015年度において、利用台帳を新たに整備する。(目標9月まで)。②その後定期的に入居者それぞれの担当職員がアセスメントとモニタリングを行う。③アセスメントシートを用意する。④KOMIレーダーチャート等を使用しているが、センター方式併用も考慮し目標に到達できるよう実践する。	12ヶ月
5					ヶ月